

子どものための保育士配置基準の引き上げと労働条件改善による 保育士の増員を求める意見書

保育所は子育て家庭をささえる施設であり、幼い子どもの発達を保障し、いのちを守るための不可欠な社会資源である。

保育所の機能拡充が進む一方で、職員配置や施設基準の改善は進まず、国際的にも低い水準のまま放置され、職員の負担が増大している。保育所での事故が増大している状況を踏まえれば、現在の配置基準は不十分であり、子どものいのちと安全を守るためにも保育士の増員が急務となっている。

政府は、国が直面する最大の危機である少子化を反転させるとして「こども未来戦略方針」を令和5年（2023年）6月13日に閣議決定した。その中で、「75年ぶりの配置基準改善として、1）1歳児の子ども6人に対し保育士1人の基準を5対1にする、2）4・5歳児の子ども30人に保育士1人の基準を25対1に改善することが盛り込まれた。

この内容を踏まえ、国におかれては、必要な財源を確保し、下記の事項について実現されるよう強く要望する。

記

- 1、「こども未来戦略方針」に示した配置基準の改善を速やかに実施すること。
- 2、配置基準の改善は、対象が限定される公定価格での加算対応でなく、基準の改定で実施すること。
- 3、国際的な水準を踏まえ、さらなる配置基準の引き上げに着手すること。
- 4、保育士不足の状況に鑑み、各職場で増員が図れるよう保育士等の賃金を引き上げることをはじめとした労働条件の改善のために必要な措置をとること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月20日

泉南市議会

採決結果

令和5年12月20日 原案否決